

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 12 日 (16 : 00～17 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	4 人	0 人	12 人

前回の改善計画	<p>介護の経験年数の個人差はあるものの、事業所として新任職員へ「ご利用者やご家族の気持ちになって支援の方法」も指導していく。</p> <p>さらに、事業所だけではご利用者の在宅生活を支援するのは困難なため、地域住民、社会資源を活用しながらも、ご家族は役割分担として重要になってくるので、話し合いの機会に参加してもらい、担当職員も同席のもと会議を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>職員は、担当者会議にも同席し、ご利用者やご家族からの情報やニーズを直接伺う機会になった。</p> <p>担当者会議などに参加できない場合は、毎月のカンファレンスや報告書などでケアマネージャーより情報を共有した。遠方のご家族へは、帰省時に会議を行なった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	11	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	2	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	0	10	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>サービス利用初回日には、ご利用者の不安な気持ちを和らげられるように、職員がご利用者との間に入って話をする時間を作ったり、ご利用者の好きな事、やりたい事が多く知れるように関わっている。</p> <p>ご利用前には、事前にミーティングや会議録を通じてケアマネージャーから職員へと情報を共有している。</p> <p>訪問時や送迎時、ご家族ともお話しする機会があるので、ご利用者の最近の状態や、ご自宅での様子を伺う機会を聞けるように努力している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>担当者会議に参加できない担当職員もあり、ご利用者やご家族の思いを紙面で確認しているが、直接会って話を聞く機会が少ない。送迎時などは時間が短く、特にご家族の不安な気持ちを聞く機会は少ない。最近ではご家族の在宅生活を支える上で、不安から要望（通いの回数が増えるなど）が大きくなっていて、事業所として調整が難しくなっているように思う。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>今後もケアマネージャーだけでなく、職員は担当者会議にも出席し、特に利用開始前のミーティングでは出席していない職員もご本人・ご家族の思いや支援の方法がわかるように、会議録等で周知していく。</p> <p>ご利用者やご家族の不安がどこからきているのかを、どちらか一方からアセスメントするのではなく、事業所として何を支援し、どのようにしたら不安が軽減できるかを「利用回数」を増やすだけでなく「なぜ不安なのか？」をケアマネージャーや担当職員を中心に聞き出したり、話し合う場を作る。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 9 月 12 日 (16 : 00～17 : 00)
------------------	-----	------------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	12 人
------------------------	------	------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画	高齢者の意欲低下も配慮し、日々の関わりの中からの目標「～したい」を見つけ出す職員の話しかけの工夫を行って計画書 (プラン) 作成の参考にする。そして評価の内容が職員の一方的な関わりだけにならないように、ご利用者が十分に満足した支援を受けられているかをご自身で話し合う場 (担当者会議など) へ参加していただく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者から会議に参加してもらっているが、目標としての普段の関わりはまだ少ない。何気ない会話の中から「～したい」を見つけ出すようにしてきたが、職員自体も登録のご利用者の目標をすべて把握できず、業務優先になっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	7	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	7	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	4	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 担当者会議等で「～したい」が聞き出せた時には、ケアプランに結び付けて目標としてきた。毎月の定例会議では、必要な情報の共有やカンファレンスだけでなく、ご利用者とやってみてよかったことや、苦手だったことなどをその都度話し合っている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意欲低下のご利用者や、認知症のご利用者の思いや「～したい」を聞き出すことは難しかった。ご利用者の目標を職員が理解できないまま、日々の関わりを行っていることもあり、「～したい」に繋がっていないように感じる。 業務優先で、ご利用者全体で関わるのがあっても、個々の目標に向き合う時間がない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 担当職員を中心に、ご利用者の「～したい」や成功体験 (できる事) への働きかけを関わりシートをもとに考えて、職員同士が共有できるようにファイルにまとめる。(H28 年 9 月会議テーマで実施) 「～したい」を実現させるためには、ご利用者と担当職員との時間の確保も必要になるので、実行させるため「いつまでに、どんなことを、ご利用者 (と職員) はしたいのか」を詳しく計画し、ご利用者が最低 3 ヶ月に 1 回は「～したい」を実現するために活動する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 12 日 (16 : 00～17 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	4 人	0 人	12 人

**前回の改善計画**  
今までの情報収集の方法は継続しながらも、職員全体で在宅生活（生活環境）を支援していく上で、さらに必要な情報をセンター方式など活用しながら、定期的に把握していく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
身体状況に変化がある時には、その都度情報を収集・共有しているが、センター方式がうまく活用されていないため、生活環境が把握しきれていないように思う。  
認知症の方はセンター方式で1年に1回のみで、新たな情報収集ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	9	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	0	0	12

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
一人暮らしの方は特に、体調に合わせてサービスの切り替えを職員の判断でできている。変化がみられた時には、ご家族とも相談して連携をとっている。食事面でもご利用者に合わせて食べやすいものに変更して提供できている。  
日勤のリーダーを中心に、当日の注意事項やサービスの変更を確認したり、申し送りノート等を活用して体調に合わせて支援している。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
ご利用者の声にならない声を話し合うことがあっても、言語化できていない。ご利用者とご家族の思いや意向が異なる時もあり、ご利用者の気持ちに寄り添った支援にならないこともあった。「なぜ思いや意向がことなるのか」を話し合う場も持てなかった。ご利用者ができることも職員がやっちゃっていることもあった。特に、男性ご利用者の気持ちを聞き出したり、気付くことが難しかった。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
センター方式等を活用して情報収集や書類に残すことは重要と理解しながらも、日々の支援のなかで、ご利用者の変化や「声にならない声」を感じ、生活記録のなかで記録として残していくことを職員間で話し合い、言語化する。  
さらに記録の重要性が支援やプランと関わっていることを内部研修などを通じて日々意識していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 15 日 (16 : 00～17 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画

事業所は地域資源や民生委員などの情報を収集し、ケアマネージャーと担当職員を中心に、ご利用者にあった資源の活用に努め、ご家族を含めた介護者全体で周知していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域との連携は管理者・ケアマネージャーが中心に行っているため、資源を活用できているかを評価した時に職員の評価は低かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	5	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	3	7	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	7	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

在宅生活を継続するなかで、特に一人暮らしの方は、事業所だけでなくご家族や地域の方の協力を得ることができた。日々のご利用者の会話のなかからも、支援に関わっていない時のお話や、地域との関わりを伺う事もあった。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域との連携は、管理者・ケアマネージャーを中心に行っていたので、職員が直接係ることがなかった。ケアマネージャーとしては、必要な情報交換を行なって連携してきたが、十分だったとは言えない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

ご利用者の在宅生活を支える上で、地域との連携や連絡は今後もケアマネージャーを中心に行うが、必要な社会資源はどのようなものがあるのかを話し合う場を内部研修等で機会をつくり、必要な支援につなげられる勉強会を行なう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 9 月 15 日 (16:00~17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<p>ご利用者の変化や状態にあったサービスを支援していきながら、地域の資源も把握し活用していくことを、ご利用者に関わる介護者と話し合う機会を設けていく。</p> <p>事業所は職員へ、読み返して評価したり、計画書に反映できるご利用者の声を言語化し、記録の残し方と重要性をさらに勉強していく機会を設ける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>ご利用者の体調や変化に合わせて柔軟に事業所内・外（配食、助け合い事業など）提供できている。地域資源を十分に活用できているかは、不安に感じる。地域の資源の把握が不十分。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	3	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	11	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	0	0	12

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>日々の関わりのなかから、変化に気づき、職員同士で報告し合いながら共有している。体調の変化だけでなく、認知症による行動の変化などもその都度、職員間で話し合っている。体調の変化などでサービスを柔軟に切り替えた。</p>
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>すべてのご利用者が地域資源を活用できているとはいえない（わからない）。ご利用者の変化など気づいたことは記録にするようにしているが、日々の支援の内容の記入が多く、記録が簡潔で「変化」の記入が乏しい。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>日々の支援のなかからの「変化」を記入することの重要性を職員間で理解しあい、特に一人暮らしや認知症の状態の変化や、「いつもと違う」ことを記入する。</p> <p>事業所自体でできる事は限られているので、ご家族や地域の方々にも支援してもらえようように情報交換を行なっていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 9 月 15 日 (16:00~17:00)
6. 連携・協働	メンバー	12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	3人	12人

前回の改善計画	ご利用者の在宅生活を支えていく上で、地域の方との連携は重要になってくるので、より良い環境作りと緊急時にもスムーズに対応できるような関係を保つためにも、地域の行事にも参加していく。 さらに、運営推進会議を活用して「地域で困っている事や、事業所への要望」を伺う機会にもしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域行事の把握が不十分で、参加する機会が少なかった。 運営推進会議では、地域の方にも参加してもらい、事業所のことをわかってもらう機会が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	5	4	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	9	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	7	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	5	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 訪問看護や福祉用具を交えての担当者会議は行えた。 事業所の行事（避難訓練、納涼祭、ちまきなど）に地域の方々の参加もあり、交流できた。 地域の会議には、理事長・副理事長が参加してる。 包括支援センターの会議には、管理者・ケアマネージャーが参加している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 医療機関とは、主にご利用者・ご家族を通じての情報交換を行っていたので、会議に参加することはなかった。 地域の会議は、理事長等が参加しているため、職員が参加することはなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) H28年度7月より事業所内で「オレンジカフェ」を開設したことによって、認知症を支えるご家族や地域で困っている方なども集える場や、情報交換の場として担当職員を中心に支援していく。 さらに、運営推進会議では事業所からの要望だけでなく、地域の方や関係機関からも行事参加にむけた要項や事業所への要望を話し合う場としても活用してもらう。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 20 日 (16:00~17:00)

7. 運営

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	3人	0人	12人

前回の改善計画	施設の行事を行う際には、回覧板などで開催の要項を閲覧してもらえようにし、開催時にはアンケートで次の開催に向けて日時や内容について検討を行っていく。 ご利用者やご家族からの意見や要望、苦情にはすぐに対応できるように、職員へマニュアルの確認を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	行事を行なってきたが、アンケートの実施は行えなかった。 ご利用者・ご家族の要望は十分とは言えないが、その都度伺って、職員で話し合っって対応してきた。 年度末～初めに施設長・管理者と職員とが個人面談を行って年度内の方向性を話し合った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	7	4	1	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	4	4	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	5	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者・ご家族からの要望や相談にはその都度（送迎時や訪問時）職員も話を伺って、ケアマネージャーへ報告したり、職員間で話し合っって対応している。 毎月の全体会議や日々のミーティングでも積極的に意見を出し合っている。 事業所の理念や目標を目につく場に掲げて「一日一笑 ～笑顔の絶えないその人らしい毎日が送れるように～」職員も笑顔で仕事ができるように気配りをする。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域からの意見や苦情などは、職員が直接聞く機会がない。(理事長等が行っているため) ご利用者やご家族からの良い意見や悪い意見、苦情が少ない。(年1回のアンケートは行っている。)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 事業所の理念や目標を話し合う場を1年1回は設けて、その目標に向かって支援できているかを職員間で意識し合う。 行事を行なう際には、ご利用者・ご家族・地域の方など参加して下さった方にアンケートをとっていく。 苦情を解決するための概要は玄関の掲示板に掲示してあるので、速やかな対応を心がける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 20 日 (16:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 12人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	2人	12人

前回の改善計画	<p>事業所は職員へ、個人のスキルアップと意欲向上に向けた研修への参加を促し、継続して内部研修で同じ知識をもってチームでケアしていく重要性を話し合う機会を設ける。</p> <p>さらに、パートの職員への外部研修の機会が少ないので、研修期間や時間などで拘束される時間の少ない研修の参加を促していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>外部研修で得た情報を法人の合同内部研修として実施していたが、出勤日でないと参加していなかった。資格取得にむけた外部研修などに参加する機会はなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	7	3	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	1	1	12

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <p>毎月の全体会議では、司会者がその時の事業所にあった(必要な)テーマを決めて内部研修を行なった。ちょっとしたことも「ヒヤリハットや事後報告」として記録に残し、会議等でも話し合った。</p> <p>事業所として必要な外部研修(実践者研修、防火管理者、食品衛生など)は、管理者が把握して参加してもらっている。</p>
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <p>ヒヤリハットや事後報告で記録には残して話し合っているが、その後の検証などは行っていないので、不安を感じる時がある。</p> <p>地域連絡会には、管理者・ケアマネージャーが参加しているので職員はできていない。</p> <p>資格取得にむけての研修の参加はできていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今後も毎月の全体会議ではテーマを決めて内部研修を行っていきながら、スキルアップを目指す。</p> <p>さらに、法人内の合同内部研修への参加も継続して参加を促していく。職員は積極的に参加していく。</p>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 9 月 20 日 (16 : 00～17 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 12 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	身体拘束や虐待、成年後見制度などへの外部研修の参加。 外部研修が少ないので、特に「身体拘束や虐待」に対する定期的な内部研修を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	H28 年 7 月に新人職員を対象として、職員へ「虐待の研修」を行なった。 成年後見制度のことが勉強不足で、活用できているかわからない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	5	0	0	12
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12
③	プライバシーが守られている	8	4	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	1	11	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	8	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個人情報が特定できるものは、施錠できるロッカーで管理している。 夜間は防犯のために施錠しているものの、日中は施錠していない。(出入りは自由) ベットに柵は準備してあるが、起き上がりや立ち上がりに活用してある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
虐待や拘束を理解したり話し合う場があっても、スピーチロック「ちょっと待って」などの言葉をご利用者に対して使うことがある。 成年後見制度をよく理解できていない。そのため活用できているかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
虐待の研修は法人の合同研修等で継続して行ないながらも、事業所内でもさらに身近に起こりうる虐待や拘束について話し合う場を管理者より、職員へ向けて全体会議のテーマにしていく機会を設ける。 成年後見制度を知る機会を作り、管理者やケアマネージャーを中心に必要なご利用者などにつなげられるようにする。	